



南牧中学校の今、そして、未来をえがく 令和6年度グランドデザイン

【学校長の願い】

- ・いつでもどこでも誰にでも「笑顔と挨拶」
- ・生活、学びの主体は「生徒」
- ・多様な考え方に触れながら、集団で学ぶことのよさが実感できる学級集団
- ・生徒が「思考・判断・表現」できる授業・生活づくり
- ・「自己肯定感・自己有用感」共に高い生徒と職員

【学校教育目標】

- 独創的な中学生（考える）
 - 心豊かな中学生（感動する）
 - 根強い中学生（やりとげる）
- 知徳体

【生徒の願い】

令和6年度生徒会スローガン **開花**
～自分の持っている能力を十分に咲かせよう～

【南牧の教育（令和6年度重点目標）】

- (1) 自ら考え行動する力を育てる教育の推進 (2) 小小連携・小中連携・地域連携



目指す子どもの姿

やりたいこと、学びたいことに向き合い、問いを立てて、追究の見通しをもち、他と関わり合いながら学びを深め、新たな課題を見出していく子ども

知 考える

- ・やってみたい、知りたい、考えたい、確かめたい、伝えたい…学ぶ意欲に自由になれる子ども。
- ・「総合的な学習の時間」を通して、教科を横断し、主体的な学習者となって学ぶ子ども。（カリキュラム・マネジメントの要）
- ・課題に対し、最適な学習方法を見出し、協働しながら追究していく子ども。

徳 感動する

- ・友だちの意見、立場、思いを尊重し、共に歩み出そうとする子ども。（本校の強み）
- ・互いの違いに学び合い、共に生きる社会を築いていく自覚を深める子ども。
- ・本物に触れ、もの・ひと・自分を大切にできる子ども。
- ・村の取組や産業を学び、郷土を愛する心をもつ子ども。

体 やりとげる

- ・学校生活で、安心して仲間づくりができる子ども。
- ・未来に向けて夢や希望、目標を確かにし、何事にも挑戦する気持ちをもつ子ども。
- ・集団や社会の一員として、よりよい学校生活づくり（生徒会活動）に参画する子ども。
- ・駅伝大会を核に「体力向上旬間」を設定し、全校で運動に取り組み、体づくりを楽しむ子ども。



令和6年度 全校研究テーマ

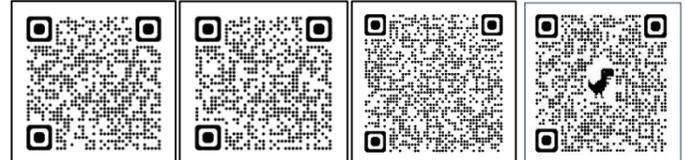
様々な対象と自主的に関わりながら、自ら考え、判断し、行動する力

～「見直し・振り返り」ことの充実を通して～

ピフォー・アフター授業とリフレクションによる校内授業改善PDCAの構築

学校づくりの基盤となる知見（二次元コードは左から①～④）

- ① 資質・能力の育成～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～【学習指導要領】
- ② 個別最適な学びと、協働的な学びの実現【「令和の日本型学校教育」の構築を目指して】
- ③ コロナ禍を超えていく学びの改革【長野県教育委員会】
- ④ 個人と社会のウェルビーイングの実現【第4次長野県教育振興基本計画】



教師の支援／校内OJTによる職員研修／南牧中学校を語る 16のキーワード

チームで支える学年担任制	心の相談室 / ほっとルーム SC / SSW	グループ学習と集団学習のハイブリッド学習	ランチルーム給食
けがや痛みの相談会	全国学力・学習状況調査 NRT / nino	インクルーシブの視点を踏まえた学年づくり・授業づくり	学校花壇づくり
Teams / e-ライブ ラー	平日・休日における部活動地域移行の実践	南佐久学事職員会 / 村三校職員会 小中連携・地域連携	ハラスメント相談窓口 いじめ相談窓口
体力向上旬間/駅伝大会	まなびの時間(自立活動)	生活・学習アンケート アセス	総合の日「探究の旅へ」 「南牧村」の魅力

保護者・地域とともに



- ・中学生と一緒に活動したい。かかわりたい。
【コミュニティスクール】
- ・南牧の産業や地域、歴史を知り、体験してほしい。
【総合的な学習の時間】
- ・いろいろな人とかかわり、平和や社会について学んでほしい。
【生徒会】【授業】【部活動地域移行】
- ・生徒の願いや声を聞く大人でありたい。
【PTA活動】

令和5年度の学校自己評価アンケートの結果を受け、本校職員が取り組んでいくこと

- ① 全職員が生徒の願いや思いに寄り添い、生徒が主人公の学校生活をつくります。
- ② 職員の言葉やふるまい、ハラスメントに対する認識を、研修を通してより深めます。
- ③ 生徒および保護者の相談体制づくりをより確かなものにし、チームで対応します。
- ④ 「全員が力を発揮し、認め合う学年づくり」「安心して参加できる授業の工夫」に継続して取り組みます。